

大保木土曜教室【西条市】

大保木で里山の生活体験教室

◆活動の目的・理念 過疎に負けない村づくり

- 地域の環境を生かした体験活動の充実
- 地域住民との交流
- 地域活性化に貢献する

活動場所	大保木公民館他	対象学校区名	西条市内全域の高校生・大保木地区の小学生	活動のべ日数	10 日	子どもの平均参加人数	9.4 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日	7 日	10 : 00 ~ 12 : 00	活動のべ日数	10 日	土曜教育活動推進員のべ人数	23 人
	日・休業日等	3 日	9 : 00 ~ 15 : 00				
土曜教育サポーターのべ人数	17 人	地域住民・出身者		ボランティアのべ人数	54 人	大学生、婦人会員、愛護班員、老人クラブ、保護者	
参加者募集	各高校を訪問してチラシを配布 公民館だより		連携・協力 機関・団体	公民館・地域住民・石鎚ふれあいの里・自治会・健康づくり推進員他			

取組の概要

<主な取組内容> 山の体験プログラム (10回実施)

- お茶摘み体験
大保木銘茶を自分の手で摘んで、干してお茶ができるまでの工程を学ぶ。
- 自然観察会
里山に棲む虫に触れ、植物を観察する。
- 蓬でおやつ作り
春に山で摘んだ蓬を使って蓬団子を作る。
- お山のマルシェ
「山の日」に野外での販売体験、河原でのそうめん流し。
- 「山仕事体験」
炭焼きに使う薪割り体験。
- 運動会の手伝い
競技の進行・・・地域を盛り上げる企画と工夫。
- 歴史探訪
大保木を歩いて山の生活を知り、「銀納義民」の歴史について学ぶ。
- かずら細工教室
山のつるを編んでクリスマスリースを作る。
- 竹取り物語
大保木山の竹を伐採し、食器や箸作りをする。
- 竹ご飯を作ってみよう
竹でご飯を炊いて地域の人と触れ合う。



(お茶摘み体験)
山の文化や自然の魅力を伝えたい・・・



(かずらでリースづくり)
山の蔓を編んで
クリスマスリースを作りました

児童・生徒の感想

- ・はじめて体験することばかりで楽しかったです。
- ・地域の方と交流する中で、大保木が大好きになり、もっと深く山の生活を学びたいと思うようになり、この土曜教育が大学進学の大きな道筋となりました。

<特色ある取組>

●山仕事体験

大保木の自然を感じ、山の生活に触れ地域の人々との交流を通して、大保木の魅力と山の暮らしを学ぶ。



(初めて、薪割りを体験しました)



(教室の後、地域の方と触れ合いながらの食事が楽しみの一つです。)

事業を実施して

【成果】

- 山が元気になりました。
- 地域住民が改めて、地元の歴史を学ぶきっかけになりました。
- 高校生が大保木に関心を持ち、楽しい、また行きたいと思うようになった。
- 高校の先生が積極的に事業に協力してくれるようになった。(事業の周知や生徒のとりまとめ)

【課題】

- 事業内容の周知方法
- 高校生のニーズと開催期間
- 講師やスタッフの協力体制の構築と人材発掘
- 持続可能な活動内容の企画